

日行連と北海道地方協議会との連絡会(平成22年度)開催される

会報・ホームページ委員会

去る平成22年9月17日(金)、行政書士会館2F「研修室」において「日行連と北海道地方協議会との連絡会(平成22年度)」が開催されました。

会報・ホームページ委員会として取材を行い、会報・ホームページ委員会の目からこの連絡会の様子を会員皆様にご報告したいと思います。

この連絡会の目的はいろいろあるかとは思いますが、取材した会報・ホームページ委員会の委員の目からは、日行連(日本行政書士会連合会)会長を中心とした執行部と各都道府県に存在する北海道行政書士会のような単位会執行部との人的交流と互いの情報交換、要望、質問などの意思疎通を行なうための機会を設けるために行なわれているように思われます。日行連(中央)と単位会(地方)のそれぞれの施策の連携をとり、お互いの捻りある業務執行成果や課題解決を望むのであれば、必須の連絡協議会だと思います。

それぞれの出席者と議題は下記の通りです。



「日行連と北海道地方協議会との連絡会」出席者(敬称略)

区 分	役 職 名	氏 名	備 考
日行連出席者	会 長	北 山 孝 次	(大阪会会長)
	副 会 長	小 林 吉 廣	(徳島会会長)
	専 務 理 事	梅 林 真 五	(福岡会名誉会長)
	事 務 局	小 川 繭 子	(登録課主任)
北海道会出席者	名 誉 会 長	深 貝 亨	
	会 長	加 藤 隆 夫	(日行連副会長・同ADR推進本部長)
	副 会 長	篠 原 賢 吾	(日行連理事)
	副 会 長	吉 村 学	
	副 会 長	佐々木 英 壽	
	総 務 部 長	宮 元 仁	(日政連北海道支部幹事長等)
	広 報 部 長	大 沼 準	
	同 部 理 事	荒 木 徹	
	経 理 部 長	小 林 八重子	
	企画開発部長	土 井 伸	
	業 務 部 長	斉 藤 秀 一	
	監 事	池 田 高 明	
	事 務 局	吉 田 和 幸	(事務局長)

「日行連と北海道地方協議会との連絡会」議題

区 分	大 項 目	小 項 目
日行連	会長所信 関係資料	①平成22年度事業執行について ②日行連と日政連の連携強化について
	行政書士法改正重点要望項目について	①行政不服審査法における不服申立ての代理について ②ADR代理権について ③一人法人を可能とする行政書士法人制度について
	自動車保有関係手続のワンストップサービス (OSS) について	
	一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター概要について	
	ADR認証申請進捗状況について	
	中央研修所関係資料	平成22年度インターネットを用いた研修システムによる研修概要について
北海道会	北海道会の新たな取組みの紹介	①STV24時間テレビ33「愛は地球を救う」に参加 ②北海道障がい者支援フェア開催

連絡会はそれぞれ出席者の自己紹介から始まりました。簡単な自己紹介ではありましたが、事務局や取材班も一緒に自己紹介が行なわれ、和やかな雰囲気作りは見事に成功したようでした。

北山日行連会長から上表の議題について精力的に説明が行なわれました。説明は平成22年度事業執行についてから始まりましたが、非常に詳細でかつ説得力ある主張が随所に見受けられました。日行連会長自らが資料をもち単位会執行部に説明と要請、主張を繰り返す姿は見応えがあり、また北山会長が冒頭に言われた「全国の会員の期待や希望に添ったものかどうか」の言葉が根底に流れており、行政書士の全国組織は立派なものだ!と思わずにはいられません。梅林専務理事から説明を受けた自動車保有関係手続のワンストップサービス (OSS) の問題など、課題や解決困難な事案も多く、長期に及ぶ努力の積み重ねが必要であることが非常によく理解できました。

北海道会からは新たな取組みとして①STV24時間テレビ33「愛は地球を救う」に参加と②北海道障がい者支援フェア開催の説明がなされました。大沼広報部長と荒木対外広報推進委員長が説明を行いました。会場の研修室を暗くしてビデオ放映で行なわれましたので臨場感が豊富で日行連の方々にも充分理解されたようでした。

今回の取材で最も強く感じたことは職域拡大の意欲が非常に旺盛であるということです。つまり行政書士の業務範囲の拡大のための施策が多岐に渡りかつ熱心であるということです。

日政連との連携強化、行政不服審査法における不服申立ての代理、ADR代理権、自動車保有関係手続のワンストップサービス (OSS) (中販連他のOSSへの参入阻止)、一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター、ADR認証申請などどれもこれも行政書士の職域堅持または職域拡大そのものの施策です。例えば成年後見制度において、市町村申立てにおける親族調査の受託業務など直ぐにでも実行可能な官公庁からの受託業務の具体例も上がっていました。

北海道行政書士会の加藤会長が日行連の副会長もやっていることもあって、私たち北海道会の会員は、中央の業務執行や施策を十分に理解できる環境にあると思います。しかしどれだけの会員が理解しているかは非常に疑問です。知識は求めて得るものであると昔から言われています。私たち会員は自らの事務所経営のためにも日行連と北海道行政書士会について進んで情報を収集し、理解し、協力していきたいものです。

(文責 水野)



会議の様子



会議の様子



北山日行連会長



梅林専務理事



加藤北海道会会長